

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

平成 26 年 12 月 19 日改正
(平成 27 年 1 月 1 日適用)

①第三者評価機関名

NPO 法人 ぎふ福祉サービス利用者センター びーすけっと

②施設・事業所情報

名称：(株) 新生メディカル 大垣営業所 デイサービスセンターみのの・みのの	種別：認知症対応型通所介護
代表者氏名：森高 里美	定員（利用人数）： 12 名
所在地： 大垣市久徳町 127-1	
TEL：0584-93-0601	ホームページ： http://www.shinsei-md.jp/area04.html
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 平成 17 年 7 月 1 日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 新生メディカル	
職員数	常勤職員： 3 名 非常勤職員 11 名
専門職員	（専門職の名称） 名
	介護福祉士 4 名 看護師 2 名
	初任者研修 2 名
施設・設備 の概要	（居室数） （設備等）

③理念・基本方針（※転載）

理念

在宅の特徴は利用者の生活の場でサービスを提供することである。個々に、すべて異なった状況の中で、利用者の人権を尊重したサービスを他機関と連携を取りながら、過不足のない量で提供すること。

また、密室になり易いため、介護者は技術、知識のみならず、倫理を基盤した専門性を要求される。質の高い介護を受けることによって、利用者の QOL の向上、自立への支援がなされなければならない。「住み慣れた地域、我が家で最後まで暮らしたい」という要求をかなえるための社会的意義を自覚して、十分な研鑽を積み、時代にあった国際レベルの社会サービスの提供を目指す。

また、介護保険指定事業者としての社会的責任と公共的使命を十分自覚して、守るべき法律を守り、職員ひとりひとりが事業理念を共有し、社会規則に則り、地域から信頼される満足度の高いサービス作りを目指し、日々の業務を遂行するものとする。

基本方針

- ①最期まで自立した人としての支援

身体抑制をしない、オムツは最後の手段、経口栄養を尊重する介護

- ②専門職としての技術、知識、職業倫理
- ③信頼関係に基づいたチームケア
- ④他職種との連携
- ⑤安心して暮らせる地域社会を創る

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・通所の時間のみでなく自宅での生活を支援する視点での訪問介護や他職種との連携。
- ・少人数制を活かし、利用者の個別性を重視した介護。
- ・認知症ケアとしてユマニチュードの取組み
- ・園芸療法の取組み

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成 29 年 8 月 1 日（契約日） ～ 平成 29 年 10 月 16 日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	回（平成 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

法人代表は、安心して暮らせる地域社会を創ることめざし、その先駆者として長年に渡り福祉を牽引し、その思いに共感した者が各地でそれを実践している。「みーの・みーの」もその一つであり、法人理念で育った職員の福祉に対する情熱が感じられ、全職員が同じ方向を向いて仕事をしている事業所である。

利用者のアセスメントから「したいこと」を汲み取り、利用者の行動や思いを注意深く把握し、分析をもとに「できること」一つひとつ増やす取組を行っている。また、ユマニチュードケア手法を導入し、利用者主体にしたケアを軸に、利用者職員が1対1でゆっくり談話できる時間と空間を確保し、利用者本人の思いや希望を聴き取ることに努めている。新任研修で自らオムツを当て排泄体験を取り入れた研修内容も、一貫して利用者に寄り添う支援の取組につながっており高く評価したい。

少人数の利用者にきめ細やかなゆったりしたケアを提供しており、家庭的雰囲気の中、どの利用者も表情が明るく穏やかである。家族からは、職員の接遇に満足し、利用者本人は利用日を楽しみにしていると代弁の声が寄せられている。

サービス時間終了後、日々、フィードバックを行い、どんな情報も丁寧に汲み上げられ、小さなミスも報告しあい、失敗と捉えず問題解決につなげる姿勢で職員間がフラットな関係でコミュニケーションをとり、職員研修も充実している。

◇改善を求められる点

地域の認知症に対する偏見が少なからずあることや、本人のプライド、家族の思い等に配慮し、外へ向けての情報発信には消極的である。しかし、むしろ認知症に特化した通所介護事業所だからこそ、認知症理解への働きかけや介護相談を受けるなどして、地域と積極的に関わってもらいたい。

利用者の基本情報、日々の個人記録、カンファレンス記録等実施状況が丁寧に記載され、管理されている。記録の共有は紙媒体となっているが、法人全体で足並みを揃えて電子データ化の方向で検討されている。導入することで情報の集約化や他職種との連携も効率的に進められ、地域との関わりに時間を分配することも可能となり、その導入に期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回が初めての第三者評価でした。評価項目を一つ一つ確認しながら、日々の業務を振り返り、事業所としての課題に改めて気づく機会になりました。日常、当たり前に行っているケアに対して、第三者の目でそこにある介護の専門性や私どもの意図を汲み取り評価頂けたことは大変ありがたく、私どもの自信につながりました。

また、ご指摘いただいた改善事項についても、今後の課題として真摯に受け止め職員一同で取り組んでいきたいと存じます。

これからも認知症対応型通所介護事業所として地域における社会的役割を自覚し、サービスの質の向上のため自己研鑽に励みたいと思います

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。